

「カーボンニュートラル」

カーボンニュートラル(carbon neutral)とは、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを意味します。2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。「排出を全体としてゼロ」というのは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」*から、植林、森林管理などによる「吸収量」*を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。また、温室効果ガスの排出量よりも吸収量が多い状態のことをカーボンネガティブ(Carbon negative)と言います。HEMSを更に普及、積極活用することで、再エネ由来の発電や消費電力の見える化、需要抑制といったエネルギーマネジメントにより、家庭レベルからカーボンニュートラル達成やカーボンネガティブ実現への貢献が期待できます。(※人為的なもの)

